

事業番号 2022 - カジノ - 21 - 0001

令和4年度行政事業レビューシート ( カジノ管理委員会 )

事業名	カジノ規制の整備・運用のための調査研究			担当部局庁	カジノ管理委員会事務局			作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	依存対策課 犯罪収益移転防止対策室 調査課			課長 小林 秀幸 室長 村瀬 剛太 課長 小森 敦	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	特定複合観光施設区域整備法(平成30年法律第80号)第214条、第215条ほか カジノ管理委員会関係特定複合観光施設区域整備法施行規則(令和3年カジノ管理委員会規則第1号)			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定複合観光施設区域整備法では、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ事業の収益を活用して、IR区域の整備を推進することにより、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現することとされている。このカジノ事業の健全性の確保に向けて、本事業により得られた知見を活用し、厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	①カジノの広告・勧誘指針等の検討のための調査業務、②カジノゲームへの依存に関する文献調査業務、③海外のカジノにおけるマネー・ローンダリング対策に関する調査業務、④米国マサチューセッツ州におけるカジノライセンス付与に係る適格性調査に関する情報収集及び分析業務を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	116	116	154	193		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	116	116	154	193		
	執行額			69	93				
	執行率(%)			-	59%	80%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)			-	59%	80%				
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	カジノ事業監督等業務庁費	154	193	必要な調査案件が増加するため。 重要政策推進枠:154					
	計	154	193						
活動内容(アクティビティ)	専門的な知見を有する研究機関等に対し、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用のために必要となる調査を委託したもの。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	厳格なカジノ規制を適切に整備・運用するために必要となる調査の実施	調査件数	活動実績	件	-	4	4	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	a執行額(千円)÷b執行件数(件)			単位当たりコスト	千円/件	-	17,232	23,161	-
				計算式	a/b	-	68,926/4	92,644/4	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	調査を実施する事業のため、定量的な成果目標の設定は困難である。		海外のカジノに係る規制等の調査を通じて、カジノ規制の整備・運用に係る知見を蓄積していくことで、審査基準等の検討・策定の一助となる。						
	代替目標	代替指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	カジノ規制に係る審査基準等を適切に策定していくための調査を実施する。	カジノ規制に係る審査基準等を適切に策定していくために必要な調査結果を得る。	実績	-	-	-	-	-	
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
政策評価、新計画との関係	政策	カジノ施設の設置及び運営に関する秩序の維持及び安全の確保							
	政策評価	政策評価書 URL	https://www.jcra.go.jp/about/evaluation.html						
	施策	該当箇所	令和3年度事前分析表、令和3年度評価書						
	生計画改革工程表	取組事項	分野:	-	-	-	-	-	
事業の効率性	(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
	該当箇所								
	事業所管部局による点検・改善								
	国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明					
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国民のカジノ行政に対する信頼を確保した上で、厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくことは不可欠である。						
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は厳格なカジノ規制の適切な整備・運用のために必要な基礎調査であり、国が実施すべき事業である。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	厳格なカジノ規制を適切に整備・運用していくための事業であり、優先度の高い事業である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札によるものは、複数者が入札を行い、企画競争によるものは、複数者が提案書を提出するなど、競争性は担保されている。また、公募によるものは、公募を行う旨をHPへ掲載する等、適切なプロセスを経て実施している。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により支出先を選定しており、また、その他の契約にあっても競争によるコスト削減が図られ、適正な支出が担保されており、妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	仕様書や見積りを精査することにより、費目や使途について真に必要なものに限定している。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	調達情報のホームページへの掲載や、委託調査の仕様書の記述をわかりやすくする等に取り組み、より良い競争が働くよう努めている。						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	審査基準等の検討・策定の一助となるカジノ規制の整備・運用に係る知見の蓄積を目標としているところ、本事業により適切に知見が蓄積されている。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	本事業は、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に活用しており、調査・分析において他の手段等はない。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見合ったものとなっている。						
事業の有効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業の成果物は、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に関し、十分に活用している。令和2年度調査の成果物は主に審査基準案の検討・策定の一助となっており、さらに令和3年度調査の成果物についても、 ①「カジノの広告・勧誘指針等の検討のための調査業務」では幅広い業界の広告勧誘業務の実態を把握し、各分野の研究者からヒアリングを行うことにより審査基準や広告・勧誘指針の策定に、 ②「カジノゲームへの依存に関する文献調査業務」では主に今後の依存防止規程の審査、依存防止対策の推進に、 ③「海外のカジノにおけるマネー・ロンダリング対策に関する調査業務」では今後の犯罪収益移転防止規程の審査に、 ④「米国マサチューセッツ州におけるカジノライセンス付与に係る適格性調査に関する情報収集及び分析業務」では審査基準の策定や今後の社会的信用に関する調査に資するものとなっている。						

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号		事業名		

点検・改善結果	点検結果	本事業では、厳格なカジノ規制の適切な整備・運用のために必要な情報収集及び調査分析等を適切に実施している。
	改善の方向性	今後も費用対効果を十分意識しながら適切な支出に努めるとともに、調査結果を厳格なカジノ規制の適切な整備・運用に有効活用していく。

**外部有識者の所見**

引き続き、適切に事業を遂行していただきたい。ただし、年度ごとに調査研究が将来どのように役立つかについて明記するなど、見える化してはどうか。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現状通り	外部有識者の所見のとおり、年度ごとに調査研究が将来どのように役立つかについて、「事業所管部局による点検・改善」欄のうち、「事業の有効性」欄に明記すべきである。引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるべきである。
------	---

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、年度ごとの調査研究が将来どのように役立つかについて明記した。引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。
------	--

**備考**

(備考欄は空欄)

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

令和3年度	2021	カジノ	20	0001		
-------	------	-----	----	------	--	--

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**カジノ管理委員会**  
93百万円

```

graph TD
    Root[カジノ管理委員会  
93百万円] --> A[委託【企画競争】  
A. 民間企業 (1者)  
46百万円]
    Root --> B[委託【一般競争(総合評価)】  
B. 民間企業 (1者)  
24百万円]
    Root --> C[委託【一般競争(総合評価)】  
C. 民間企業 (1者)  
13百万円]
    Root --> D[委託【公募】  
D. 民間企業 (1者)  
10百万円]

```

広告勧誘に関する業界自主規制や最新の手法等の実態に係る調査

米国マサチューセッツ州におけるカジノライセンス付与に係る適格性調査に関する情報収集及び分析

海外のカジノにおけるマネー・ロンダリング対策に関する調査

カジノゲームへの依存に係る文献調査

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			B.みずほリサーチ&テクノロジーズ		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費等	シニアマネージャー、シニアコンサルタント等	45.9	人件費等	部長、上席主任研究員、主任研究員等	24
	計		45.9	計		24
	C.あずさ監査法人			D.北里研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費等	マネージング・ディレクター、テクニカル・ディレクター等	12.7	人件費等	研究員、専門家等	9.9	
計		12.7	計		9.9	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	カジノの広告・勧誘指針等検討のための調査	46	随意契約 (企画競争)	3	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	9010001027685	米国マサチューセッツ州におけるカジノライセンス付与に係る適格性調査に関する情報収集及び分析	24	一般競争契約 (総合評価)	5	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有限責任あずさ監査法人	3011105000996	海外のカジノにおけるマネー・ロンダリング対策に関する調査	13	一般競争契約 (総合評価)	4	--	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学校法人北里研究所	6010405001652	令和3年度カジノゲームへの依存に関する文献調査	10	随意契約 (公募)	1		従来にないカジノゲームへの依存に関する文献調査という業務内容から公募が1者となったと思料するところ、業務履行期間の確保や委託調査の仕様書のわかりやすい記述等に取り組むことにより、改善を図る。
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	